



水田・里山放牧ニュースレター

第 13 号

2005 年 11 月 2 日

発行 水田・里山放牧推進協議会

事務局 畜産草地研究所(那須)

〒 329-2793 那須塩原市千本松 768

TEL 0287-37-7003 FAX 0287-37-7132

第 8 回情報交換会が開催される！

茨城県大子町において 50 名の参加の下、10 月 5 日(水)に開催されました。午前中は大生瀬における出前放牧の事例と、町付李平の乳牛と和牛の混牧の事例を見学しました。午後からは、ホテル「やみぞ」において、情報交換会を行いました。

1. オオナマセ大生瀬実証展示放牧場

大子町畜協のアドバイスにより、平成 17 年より、遊休農地 80a(以前は飼料畑として肉牛繁殖農家が利用)に、電気牧柵を設置し、数キロ離れた和牛農家の牛の出前放牧を開始しております。



写真 1. 大子町和牛繁殖経営活性化協議会が管理する耕作放棄地等放牧実証展示放牧場

150aの土地(地権者 5 名)を借り、平成 17 年 6 月 14 日に電柵を設置し、同月 29 日より放牧を開始しております。設置費用は総額約 250,000 円です。

給水管を敷設していないため、水槽(中央右)には人力で補給しております。



写真 2. 黒毛和種妊娠牛 3 頭を放牧中

分娩予定は、17 年 11 月下旬、12 月下旬、18 年 2 月で、下牧時期を迎えていましたが、協議会の視察のため、放牧期間を延長しておりました。まだ、下草が若干残っており、牛の栄養状態も悪くなく、順調に経過しております。このような植生状況のため、これまでも、餌の不足による脱柵はありませんでした。



写真 3. 放牧により、きれいに草地化された牧区

放牧開始前には奥(山側)にあるような雑木、篠(笹や竹類)、雑草で覆われていましたが、僅か 3 か月で、きれいな草地になりました。次年度以降は、蹄耕法による草地面積の拡大と今年度播種した牧草の定着により、牧養力の大幅の拡大が期待されます。

また、放牧の実施に伴い、イノシシの害もみられなくなりました。

2. 大子町町付李平簡易放牧場

マチツキスモモダイラ

コンニャク等の栽培のため基盤整備された土地(約 6ha)は、コンニャクイモの価格低迷、イノシシの害、加えて高齢化のため管理が行き届かず、遊休農地化しておりました。その結果、僅か数年で、荒廃が一気に進んでしまいました。

環境保護・美化のため、約 78,000 円を投じて、平成 16 年 4 月 13 日に放牧地(約 100a)を設置し、17 年 6 月 6 日から放牧を開始しております。



写真4 . 山側の隣接地



写真5 . 道路を挿んだ隣接地



写真6 . 放牧風景

黒毛和種 1 頭(17 年 10 月分娩予定)とホルスタイン種 2 頭(17 年 12 月と 18 年 2 月分娩予定)を混牧しております。

放牧開始後僅か 4 か月ですが、クズ、イヌタデ、セイタカアワダチソウ等の雑草は一掃されております。また、イノシシも出没しておりません。

中央奥の赤い屋根が畜主の大森さんの住宅で、川を挟んでいますが、近いため、行き届いた管理ができます。

3 . 情報交換会

茨城県では、農家独自で放牧を開始した場合、県で審査して適当なものに対して費用の 1 / 2 を補助しております。現在、耕作放棄地への放牧は 3 か所のみであります。しかし、高齢化が進むとともに、急傾斜地が多く管理が大変なため、公共育成牧場を核として耕作放棄地への放牧を増やしていこうと考えております。「山間地直接支払い制度」等国の補助を受けるため、地域全体で参入することは考えておりませんが、今後検討していきたいと考えております。補助事業について、ニューズレター等で分かり易い情報を提供していただきたい(茨城県畜産センター 小川、堀越)。

大子町では出前出張する場合、土地の借料、出前放牧の双方に対し、金銭の授受は行っておりません。環境保全・美化効果と飼料・管理費の節減効果を同等とみなしてよいと考えています。個人或いは小規模な牧場で、放牧管理上支障を来した時、町営の公共牧場で預かることにしております(大子町畜協 佐藤)。

関東農政局より、「関東地域の放牧事例 & 放牧マップ(詳細は関東農政局のホームページ ht

tp://www.kanto.maff.go.jp を参照ください)」をもとに、関東地域の耕作田・耕作放棄田における放牧の実態が紹介されました(関東農政局 田村)

放牧を開始する前には脱糞、害虫、悪臭問題等で地域住民に理解してもらうのに苦労しましたが、実行に移して以来、これらの問題もなく、労力の軽減、経費の節約、景観の向上がみられ、本当に良かったと思っております。現在、規模拡大を検討しているところです。良き指導者を得たことが成功の大きな要因と思います(那須町放牧研究会 相馬)。

那須地区では、畜産農家の減少と高齢化により飼育頭数が激減し、預託する牛もいなくなったこと等により、共同作業を実施することが困難になっております。また、集落地が遠く、移送が大変なこと等により、那須地区の公共牧場は減少しつつあり、将来が心配されております。しかし、高齢化していても土地があり、機械化が困難なところには逆に放牧の進出する余地があると考えております(栃木県那須農振事務所 斉藤)。

栃木県塩谷地区でも公共牧場の利用率は低下しつつあります。また、耕作放棄地などへの放牧も少なく、昨年までは3か所のみでありました。しかし、水田等放牧を推し進めることに努めた結果、現在、10か所に増えております。今後、「放牧研究会」を発足するとともに、倍増していきたいと考えております(栃木県塩谷農振事務所 相馬)。

家畜改良センターでは現在、放牧の実証展示をホームページに掲載するとともに、放牧施設・機材の現物を展示し、啓蒙に努めているところであります。また、県南の耕作放棄地への放牧に当たっては、センターの牛を貸し出しておりますが、放牧地の借用、周りの農家への説明など拡大を図る上で、問題点も残されております(家畜改良センター 増田)。



写真7. 情報交換会

草地畜産種子協会では、低未利用地の放牧利用に適した草種・品種の選定とその利用技術を開発するため、全国に6か所の拠点を設け現地実証試験を行っています。また、放牧技術の普及を促進するため、要請に応じ「放牧アドバイザー」として、無料で出張指導を行っておりますので、活用してください(草地畜産種子協会 落合)。

第5回放牧サミットが開催される！

山口県下において、9月21日、22日の両日にわたり開催され、参加者は350名にも達する盛会振りでした。第1日目は湯田温泉において「放牧が及ぼす効果とその普及について」と題して、耕作放棄地の解消、害獣防止などの放牧による地域活性化等の効果、放牧畜産物の機能性成分等の効果について論議するとともに、放牧の普及方策についての検討が行われました。第2日目は千人塚、奥畑、山本及び特区放牧場の現地視察が行われました(詳細は次号に掲載)。

これまでのニュースレターは水田里山放牧推進協議会のホームページ(<http://houboku.ac.affrc.go.jp/>)に掲載されています。
メーリングリストでの情報交換も可能です(参加を希望される方は kiyosi@affrc.go.jp まで)

質問・要望等ございましたら、以下にお寄せ下さい。

〒 329-2793

栃木県那須塩原市千本松768 畜産草地研究所研究交流調整官

FAX: 0287-37-7132 e-mail: kouryu_nasu@naro.affrc.go.jp

放牧のための補助事業等一覧表

(平成17年度)

関東農政局生産経営流通部畜産課

対応する事業	実施主体 (問い合わせ先等)	事業の内容等
<p>耕作放棄等を利用して放牧を行いたい</p>	<p>市町村等</p> <p>(社)全国肉牛振興基金協会 (1)</p> <p>(社)日本草地畜産種子協会 (2)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 耕作放棄地や林地等の畜産的利用の促進を図るため賃借権等の設定により畜産経営が土地集積を行った場合の費用に助成します。 傾斜地等を蹄耕法等による不耕起で放牧地として活用する整備を行った場合に助成します。 電気牧柵等の整備に助成します。 遊休農地等を活用した日本型放牧の推進を図る取組に助成します。 放牧主体により、持続的な畜産を行うのに必要な電気牧柵等の整備に助成します。
<p>水田放牧をやってみたい</p>	<p>地域水田農業推進協議会 (市町村等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地域水田農業ビジョンにおいて、水田放牧に係る取組を助成対象としている場合に助成します。 飼料作物の利用供給契約(稲作農家・畜産農家)を締結し、水田放牧を行う取組に助成します。
<p>公共牧場を利用したい</p>	<p>(社)日本草地畜産種子協会 (2)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 公共牧場において、入下牧時の家畜運搬、家畜衛生対策等の経費に助成します。

(1) 地域肉用牛振興対策事業うち地域肉用牛振興特別対策の実施団体

茨城県畜産協会、栃木県畜産協会、群馬県畜産協会、千葉県畜産協会、山梨県畜産協会、長野県畜産協会、静岡県畜産協会

(2) 草地畜産生産性向上対策事業の実施団体

茨城県草地協会(茨城県畜産協会)、栃木県畜産協会、群馬県畜産育成牧場連絡協議会(群馬県畜産協会)、千葉県草地協会(千葉県畜産課)、山梨県草地協会(山梨県畜産協会)、長野県畜産協会